

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成26年10月9日(2014.10.9)

【公開番号】特開2014-156675(P2014-156675A)

【公開日】平成26年8月28日(2014.8.28)

【年通号数】公開・登録公報2014-046

【出願番号】特願2013-28603(P2013-28603)

【国際特許分類】

D 21 H 19/10 (2006.01)

B 32 B 29/02 (2006.01)

【F I】

D 21 H 19/10 A

B 32 B 29/02

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月22日(2014.7.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

熱硬化性樹脂化粧板に熱硬化性樹脂を含浸して用いられるサイズ処理はしない化粧板原紙であって、前記化粧板原紙中に酸化チタン以外の白色無機填料が灰分として13質量%以上抄き込まれてあり、更に、塩化カルシウム、塩化マグネシウム、硫酸マグネシウム、酢酸カルシウムの群からなる中性の水溶性金属塩の1種以上を含有し水溶性高分子バインダーは含有しない水溶液を、少なくとも印刷面に外添し、水溶性金属塩の乾燥付着量として0.5~3.0g/m<sup>2</sup>付与してなるインクジェット印刷用化粧板原紙。

【請求項2】

請求項1の白色無機填料がタルク、焼成カオリין、炭酸カルシウムからなる群から選ばれる1種以上であるインクジェット印刷用化粧板原紙。

【請求項3】

請求項1または請求項2のインクジェット印刷用化粧板原紙にインクジェット印刷を施して化粧層の表面化粧材とし、該化粧層の表面化粧材の裏面に酸化チタンを含有する化粧板白原紙または/及びコア層のコア紙として白コア紙を用いることにより隠蔽性を付与する層構成の高圧メラミン化粧板。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

本発明の課題は、サイズ処理はしない化粧板原紙であって、白色無機填料を抄き込み、水溶性金属塩を外添して担持させることにより達成される。

即ち、本発明は、

(1) 热硬化性樹脂化粧板に熱硬化性樹脂を含浸して用いられるサイズ処理はしない化粧板原紙であって、前記化粧板原紙中に酸化チタン以外の白色無機填料が灰分として13質

量%以上抄き込まれており、更に、塩化カルシウム、塩化マグネシウム、硫酸マグネシウム、酢酸カルシウムの群からなる中性の水溶性金属塩の1種以上を含有し水溶性高分子バインダーは含有しない水溶液を、少なくとも印刷面に外添し、水溶性金属塩の乾燥付着量として0.5~3.0g/m<sup>2</sup>付与してなるインクジェット印刷用化粧板原紙。

(2) 1項の白色無機填料がタルク、焼成カオリין、炭酸カルシウムからなる群から選ばれる1種以上であるインクジェット印刷用化粧板原紙。

(3) 1項または2項のインクジェット印刷用化粧板原紙にインクジェット印刷を施して化粧層の表面化粧材とし、該化粧層の表面化粧材の裏面に酸化チタンを含有する化粧板白原紙または/及びコア層のコア紙として白コア紙を用いることにより隠蔽性を付与する層構成の高圧メラミン化粧板。